

個別施策4 官民データ活用の推進



施策概要

埼玉県は平成28年3月にオープンデータ※のポータルサイトを開設し、本市では県ポータルサイトを利用して保有するデータのオープンデータ※を公開してきました。

DX※の実現に当たり、行政が保有する情報をデジタル化し、データを様々な主体が容易に活用できるよう、より積極的なデータ公開に取り組みます。

さらに、データの価値や品質をより良いものとするため、データの自動公開や LOD※（Linked OpenData）での公開、ビッグデータ※の活用について推奨していきます。

現状

埼玉県オープンデータ※ポータルサイトに、令和3年6月時点で6種類のデータを公開中です。

課題

民間での行政データの活用に向けて、オープンデータ※のデータの種類を増やすようつとめるとともに、より活用しやすい形式での公開を検討したり、最新のデータを提供できるようにしたりするなど、データ品質についても向上を図っていく必要があります。

スケジュール

R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度

行政情報のオープンデータ公開

公開可能なデータの棚卸

データ品質向上の取組

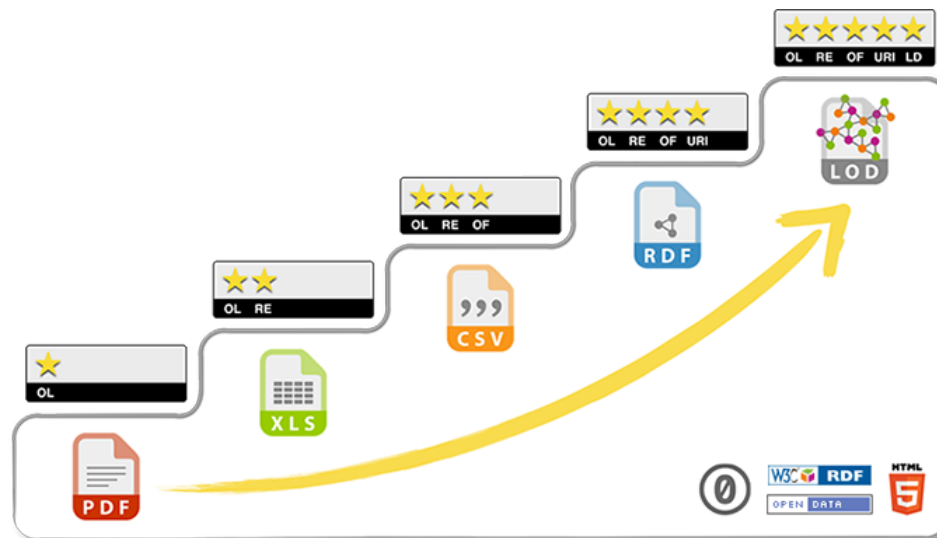


埼玉県オープンデータポータルサイト

個別施策4 官民データ活用の推進



Webの発明者でありLinked Dataの創始者でもあるティム・バーナーズ＝リーは、以下のようにオープンデータ※のための5つ星スキームを提案しています。
本市においてもこのスキームに則りオープンデータ※のデータ品質向上に努めます。



★	(どんな形式でも良いので) あなたのデータをオープンライセンスでWeb上に公開しましょう
★★	データを構造化データとして公開しましょう (例: 表のスキャン画像よりもExcel)
★★★	非独占の形式を使いましょう (例: ExcelよりもCSV※)
★★★★	物事を示すのにURI※を使いましょう, そうすることでほかの人々があなたのデータにリンクすることができます (例: インターネット上の住所であるURLを提示する)
★★★★★	あなたのデータのコンテキストを提供するためにほかのデータへリンクしましょう

5 ★ オープンデータWebサイト (<https://5stardata.info/ja/>) より抜粋